



第46号 発行所 小田原市役所 小田原市幸1の138 編集兼発行人 石井重治 印刷所 株式会社 共同印刷

定価 一部三円

市議会十二月定例会

昭和27年度各決算案認定さる

第一日 十二月定例会市算特別委員長野島功謹氏 議会は、十五日午後一時から別掲掲載の通り審査三十分開会、会期を七の結果につき報告がなされた。日以内と定め、昭和二十年、委員長報告通り認定七年度小田原市歳入歳出案を認めた。

決算案は四特別会計の各次に議案第123（小田原市給排水改善事業特別会計）、第124（小田原市下水道事業特別会計）、第125（小田原市衛生事業特別会計）とも決算特別委員会を設け、各案を審査し、承認することとし、議長氏に付託す。議長氏は、議案の審査を、議案第123（小田原市給排水改善事業特別会計）について、議案第124（小田原市下水道事業特別会計）について、議案第125（小田原市衛生事業特別会計）について、各案を審査し、承認することとし、議長氏に付託す。

同日午後一時、議長氏に付託す。議長氏は、議案の審査を、議案第123（小田原市給排水改善事業特別会計）について、議案第124（小田原市下水道事業特別会計）について、議案第125（小田原市衛生事業特別会計）について、各案を審査し、承認することとし、議長氏に付託す。

議案第126（小田原市職員の退職給付金に充てるための特別会計設置案）は、議長氏に付託す。議長氏は、議案の審査を、議案第123（小田原市給排水改善事業特別会計）について、議案第124（小田原市下水道事業特別会計）について、議案第125（小田原市衛生事業特別会計）について、各案を審査し、承認することとし、議長氏に付託す。

昭和27年度小田原市歳入歳出決算

款別	歳入	歳出
市地方交支費	196,936,563	189,873,582.15
財政平金及収入	51,600,000	23,723,000.00
地衡公財使用料及手数料	58,769,655	57,835,425.00
地方交支費	10,497,960	12,469,947.50
地方交支費	69,007,577	64,366,527.00
地方交支費	20,983,707	20,195,635.00
地方交支費	6,794,600	5,833,639.55
地方交支費	10,096,925	9,245,764.00
地方交支費	41,500,000	40,400,000.00
地方交支費	466,192,987	423,943,520.20
地方交支費	13,430,572	13,300,922.00
地方交支費	75,964,917	73,492,145.00
地方交支費	65,307,382	64,667,533.00
地方交支費	82,977,790	70,716,958.00
地方交支費	18,868,210	18,807,118.00
地方交支費	68,201,045	66,396,985.00
地方交支費	13,899,840	12,258,091.00
地方交支費	16,989,138	16,606,647.00
地方交支費	8,933,777	8,392,565.00
地方交支費	2,931,717	2,908,336.00
地方交支費	809,594	426,993.00
地方交支費	2,163,338	1,596,727.00
地方交支費	11,641,445	11,284,743.05
地方交支費	25,844,550	24,895,030.00
地方交支費	147,695	—
地方交支費	24,757,123	24,757,122.54
地方交支費	33,274,854	30,290,153.00
地方交支費	466,192,987	440,797,878.59

提出案件

昭和二十七年歳入歳出決算案認定6 小田原市歳入歳出決算案認定6

決算特別委員長報告

十二月十一日日程の昭和二十七年歳入歳出決算案認定6 小田原市歳入歳出決算案認定6 小田原市歳入歳出決算案認定6

監査 決算審査意見

昭和二十七年歳入歳出決算案認定6 小田原市歳入歳出決算案認定6 小田原市歳入歳出決算案認定6

計算書	金額
歳入合計	423,943,520.20
翌年度繰上充用金	16,854,358.39
計	440,797,878.59
歳出合計	440,797,878.59
歳入歳出差引残金なし	—

併しこれは市税の滞納壹千七百七十二万九千九百九十九円を以て充分に賄い得る額である。併しこれは市税の滞納壹千七百七十二万九千九百九十九円を以て充分に賄い得る額である。

追加更正予算の概要

歳入の部	金額
市 税	52,991,166.00
公管企業及財産収入	6,800,000.00
國庫支出金	341,368.00
県支出金	14,405,368.00
市 債	Δ 555,570.00
歳出の部	32,000,000.00
議 会 費	52,991,166.00
市役所費	1,537,639.00
警察消防費	3,102,731.00
教 育 費	395,250.00
社会及労働施設費（投産場建設工事・公管住宅建設工事）	Δ 20,405.00
保健衛生費（焼却場増設工事）	42,677,187.00
諸支出金（振興費・城東高図書館建設費寄附ほか）	4,059,993.00
その他費	1,189,854.00
豫 備 費	93,208.00
	Δ 44,291.00

一月十一日午前八時から御遠端で小田原市消防始式が盛大に行われた。この日、市民多数の参観に、水野消防長指揮、鈴木市警署長、消防団、消防自動車五台、消防団員七百名の分列行進、ポンプ操法模範演技、また最後は機械化部隊による一斉放水が行われた。検閲終了後、城内小学校校庭で功労者の表彰式があり、一時過ぎ意義深き式典を滞りなく終了した。

消防始式

小学校新入学の御家庭へ

入学諸準備について

本年四月一日、新たに小家庭で注意いたたく主
 学校一年生として入学することを申し上げます。
 児童は、昭和二十二年四月二日から昭和二十三年四月一日までの間に生れたお子様方です。「入
 学告知書」は一月下旬までには御手許へ届く筈で
 すが、若し病氣や身体の不都合で就学を延期される
 ときは告知書が届かないような場合には、教育
 委員会事務局総務課までお申出下さい。

ことしの新入学児童の概
 数は次表の通りで昨年度に比べて八七五名の激増となつております。

学校名	男	女	計
本町小学校	一七二八	一三七七	三〇八八
城内小学校	一九〇一	一八九八	三〇九九
新玉小学校	二〇七	一六八	三七五
足柄小学校	一一九	九二	二一一
芦子小学校	一一五	一一三	二二八
大窪小学校	一一八	一〇三	二二一
早川小学校	四四	三六	八〇
山王小学校	四九	四〇	八九
久野小学校	四四	三三	七七
和留沢分校	一	一	二
富水小学校	九三	七五	一六八
町田小学校	六九	六六	一三五
下府小学校	五三	六七	一二〇
櫻井小学校	五二	二一	七三
計	一、三六六	一、三三二	二、五九七

本年産米供出実績について

とができ、平假名で書いた自分の名前が読め
 ない、伝染病や、目や耳の病氣などは、入学前
 書けるようにしておく、身近なもの、十ま
 とが、平假名で書
 いた自分の名前が読め
 ない、伝染病や、目や耳の病氣などは、入学前
 書けるようにしておく、身近なもの、十ま

で数えられるようにし
 五五二升(一〇〇、〇%)
 ▲下府地区六八、八六
 五升(一〇〇、〇%)
 ▲櫻井地区二二五、四四八
 升(一〇〇、〇%)
 ▲計 四七六、三二八升
 (一〇〇、〇%)

お米の配給価格
 値上げ
 一月分からお米の配給
 価格(小販販賣者の販売
 価格の統制額)は一キロ
 当り次の通りとなりまし
 た。

国内産精米
 七六五五〇銭
 うち 八四四五〇銭
 外国産精米六五五〇銭
 うち 七一四五〇銭
 外国産碎米五四四〇銭
 うち 七九四〇銭

各課の紹介

農林水産課

農家及び事に当つておられます。又農林係
 の係は農業技術の指導にあたり、家畜
 繁殖奨励事業の一環として、市條例に
 基づき、市営の畜舎を貸付し、乳牛の
 繁殖を奨励して、小田原産物の増産を
 図つておられます。

この係は農業技術の指導にあたり、家畜
 繁殖奨励事業の一環として、市條例に
 基づき、市営の畜舎を貸付し、乳牛の
 繁殖を奨励して、小田原産物の増産を
 図つておられます。

この係は農業技術の指導にあたり、家畜
 繁殖奨励事業の一環として、市條例に
 基づき、市営の畜舎を貸付し、乳牛の
 繁殖を奨励して、小田原産物の増産を
 図つておられます。

この係は農業技術の指導にあたり、家畜
 繁殖奨励事業の一環として、市條例に
 基づき、市営の畜舎を貸付し、乳牛の
 繁殖を奨励して、小田原産物の増産を
 図つておられます。

この係は農業技術の指導にあたり、家畜
 繁殖奨励事業の一環として、市條例に
 基づき、市営の畜舎を貸付し、乳牛の
 繁殖を奨励して、小田原産物の増産を
 図つておられます。

課は、民生部に属し、課
 長以下一七名、庶務係、
 農林係、水産係の三係と
 富永正寺に種苗農場を
 設置してあります。

この係は農業技術の指導にあたり、家畜
 繁殖奨励事業の一環として、市條例に
 基づき、市営の畜舎を貸付し、乳牛の
 繁殖を奨励して、小田原産物の増産を
 図つておられます。

この係は農業技術の指導にあたり、家畜
 繁殖奨励事業の一環として、市條例に
 基づき、市営の畜舎を貸付し、乳牛の
 繁殖を奨励して、小田原産物の増産を
 図つておられます。

この係は農業技術の指導にあたり、家畜
 繁殖奨励事業の一環として、市條例に
 基づき、市営の畜舎を貸付し、乳牛の
 繁殖を奨励して、小田原産物の増産を
 図つておられます。

この係は農業技術の指導にあたり、家畜
 繁殖奨励事業の一環として、市條例に
 基づき、市営の畜舎を貸付し、乳牛の
 繁殖を奨励して、小田原産物の増産を
 図つておられます。

市政短信

市勢伸張委員近隣町
 村を歴訪
 ○市勢伸張委員近隣町
 村を歴訪
 昨年十二月二十四、二十
 五の両日にわたり、市勢
 伸張委員の一行は、挨拶
 を兼ね合併問題に關し次
 の各町村を歴訪した。

小額通貨の使用禁止と引換

小額通貨(銭、厘の通貨
 及び一円の黄銅貨)は昨
 年十二月三十一日限りで
 通用禁止となりまし
 た。これらの通貨は、六月三
 十日までに、取まとめて
 各郵便局にお持ちになり
 小額通貨以外の通貨と引
 換えて下さい。この場合
 円位未満の端数については
 四十九銭以下の場合引
 換を請求することができ
 ません。

昭和29年度農業センサス実施

二月一日現在
 昨年の農業センサス、工
 業調査範囲は県下の全
 市町村にわたる。農業セ
 ンサスは農業者の所得
 の実態を把握して農業
 施策の基礎資料を得る
 ために実施されるもので
 あり、調査期間は二月一
 日現在

市内一周駅伝

早川が五連覇
 第五回小田原市内一周
 駅伝は青年団十一チーム
 が参加し、一月十日、全
 長三萬七千七百五十九
 メートルを走り、早川
 チームが最高タイムで
 一時間五十九分五十九
 秒でゴールを走り、実
 績は

中小企業小口融資の利用状況

月別	申込したものの件数	金額	融資したものの件数	金額
一月	二六	一七五〇	一	四七〇〇
二月	九三	六三〇〇	一	五〇〇〇
三月	一一	一〇九〇	一	五〇〇〇
四月	三八	二五〇〇	一	六五〇〇
五月	三六	二五〇〇	一	二五〇〇
六月	七三	六五〇〇	一	六五〇〇
七月	一七	一〇九〇	一	五〇〇〇
八月	七六	二五〇〇	一	六五〇〇
九月	一〇	一〇九〇	一	五〇〇〇
十月	二七	二五〇〇	一	六五〇〇
十一月	一九	一〇九〇	一	五〇〇〇
十二月	一〇	一〇九〇	一	五〇〇〇
計	二二九	一七、〇〇〇	一三	一七、〇〇〇

梅花賞典レース

1月30 31 2月1 2 3 4

県下四花(梅 花 櫻 花) 小田原競輪場にて開催

主催 小田原市

月別	申込したものの件数	金額	融資したものの件数	金額
一月	二六	一七五〇	一	四七〇〇
二月	九三	六三〇〇	一	五〇〇〇
三月	一一	一〇九〇	一	五〇〇〇
四月	三八	二五〇〇	一	六五〇〇
五月	三六	二五〇〇	一	二五〇〇
六月	七三	六五〇〇	一	六五〇〇
七月	一七	一〇九〇	一	五〇〇〇
八月	七六	二五〇〇	一	六五〇〇
九月	一〇	一〇九〇	一	五〇〇〇
十月	二七	二五〇〇	一	六五〇〇
十一月	一九	一〇九〇	一	五〇〇〇
十二月	一〇	一〇九〇	一	五〇〇〇
計	二二九	一七、〇〇〇	一三	一七、〇〇〇